

研究主題等 これからの定時制・通信制教育（制度と授業）の研究

I 本会の概要と研究目的

長い歴史のある東京都公立高等学校の定時制通信制教育ではあるが、時代の変化とともに社会に求められる学校の在り方も変化している。生徒の多様化が進み、定時制通信制高等学校の位置づけは、勤労青年のための教育機関から多様な学びのニーズへの受け皿が増加し、その役割が変化している。

本会では、各学校の教育活動等を元に多くの研究や情報交換等を行うことでこれからの定時制通信制教育の新しい発展を目指している。規模の縮小により各校には同一教科の教員が複数いない場合も多い中、教員自身のスキルアップのために研究会や指導体験発表会などを通して資質向上を図る場の提供をしている。

II 本会の組織

本会の研究部会は以下の通りとなっている。各部会では年間の研究を進めるとともに、講演会や学習会等の事業を行い各部会の指導方法を研鑽し、それにより定時制通信制教育の振興を目指す。

【教科等研究部会】

国語部会、地理歴史部会、数学部会、理科部会、保健体育部会、芸術部会、英語部会、家庭部会、農業部会、工業部会、商業部会、生活指導部会、日本語教育部会

III 年間の主な事業等

- 1 都定通研の事業：東京都定通教育指導体験発表会（日時 令和7年1月10日（金） 会場 東京都教職員研修センター）
- 2 都定通研後援事業：(1) 東京都高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会（東京都予選） (2) 東京都定通芸術祭
(3) 全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会（全国大会）
- 3 関係機関誌の発行：(1) 「定通教育研究集録」 (2) 「定通指導者体験発表会研究集録」 (3) 「都定通研会報」

【令和6年度東京都教育委員会研究推進団体 東京都公立高等学校定時制通信制教育研究会】

IV 事業の紹介 東京都定通教育指導体験発表会

開催日 令和7年1月10日(金) 会場 東京都教職員研修センター

第1分科会 【601研修室】	第2分科会 【602研修室】	第3分科会 【603研修室】	第4分科会 【604研修室】
学習指導	学習指導	学校としての取り組み	学校としての取り組み
「高等学校数学科における反転授業に関する実践報告」 ～対面の授業における教師の役割に着目して～	「働き方およびSOSの出し方に関する教育の事例報告」 ～「産業社会と人間」での実践～	「教務部による不登校生徒への学習支援体制の整備について」	「通信制課程の現状と課題」
今井 陽一 大土 一樹 藤田 祥一 (都立新宿山吹高等学校)	田久保 宏征 (都立青梅総合高等学校)	鈴木 航 (都立神代高等学校)	南原 健志 (都立一橋高等学校)
指導・助言	指導・助言	指導・助言	指導・助言
山下 慎司 課長代理	宗川 良子 指導主事	西本 光 指導主事	林 由美子 指導主事
「一人1台端末を活用した始業前10分学習の実践」	「ルーブリック評価表の共有による指導と学習効果の最大化」 ～透明性の高い評価・成績を求めて～	「特別な支援が必要な生徒への組織としての取り組み」	「夜間定時制高校における地域性をふまえた防災学習と防災訓練」
村中 仁 (都立墨田工科高等学校)	酒井 求 (都立浅草高等学校)	上野 由美子 (都立板橋有徳高等学校)	木谷 隆太郎 (都立立川高等学校)
指導・助言	指導・助言	指導・助言	指導・助言
坂田 匡史 指導主事	坂本 憲亮 指導主事	海洲 安希央 指導主事	古川 薫 課長代理

1 時程

午後1時30分から午後4時30分まで

- ・分科会 午後1時30分から午後3時
- ・全体会 午後3時15分から
午後4時30分

2 研究主題

「定通教育における現状の把握と、多様な生徒に対する指導の工夫」

3 全体会 講演

「子供の問題行動の理解と対応
(SNSの使い方や非行・犯罪に巻き込まれないために)」

講師 法務少年支援センター
地域非行防止調整官補

菊地 瑠衣 氏

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都公立高等学校定時制通信制教育研究会	
代表者	所属	東京都立大山高等学校	
	職氏名	校長 齋藤 栄昭	
	連絡先	03-3958-2121	
事務局	所属	東京都立浅草高等学校	
	職氏名	副校長 加藤 隆弘	
	連絡先	03-3874-3182	
団体ホームページ	URL	—	
	二次元コード	—	